

文字（サインロゴ）を壁に貼り付ける方法

文書管理番号：1122-03

Q. 質問

壁に文字（サインロゴ）を貼り付けたい。

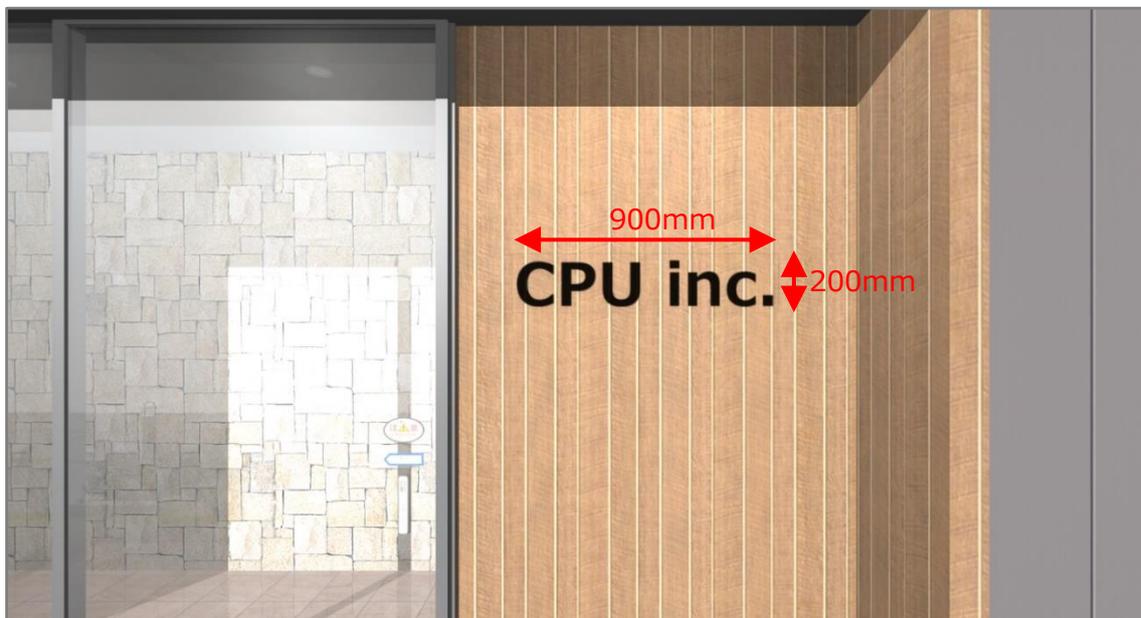
A. 回答

壁に貼り付けたい文字の画像を用意し、その画像を A's（エース）の 3D 色定義ツールで部材色として登録します。

プラン図と 3D パースで設定することで、壁に文字（サインロゴ）を表現できます。

操作手順

ここでは外壁に、図のようなサインロゴを貼り付ける方法を説明します。



白色や薄い色など、黒色以外の文字（サインロゴ）を壁に貼り付ける方法については、こちらをご覧ください。

[\[1162\] 様々な色のロゴや文字を壁に貼り付ける方法](#)

表札や看板を 3D パースで表現する方法については、こちらをご覧ください。

[\[1244\] 表札や看板をパースで表現する方法](#)

● 画像データの準備

画像データは貼り付けるロゴサイズの大きさにあわせて、画像編集ソフトを使用し、BMP、JPG、TIFF、PNG いずれかの形式で用意してください（原寸でなくてもかまいません）。 (デザイナー) の  (The Present) または  (The Retouch) でも作成できます。

ここでは、外壁に 900mm×200mm の大きさにロゴを貼り付けますので、その大きさにあわせ、縦横比が 9 : 2 の画像を準備します。

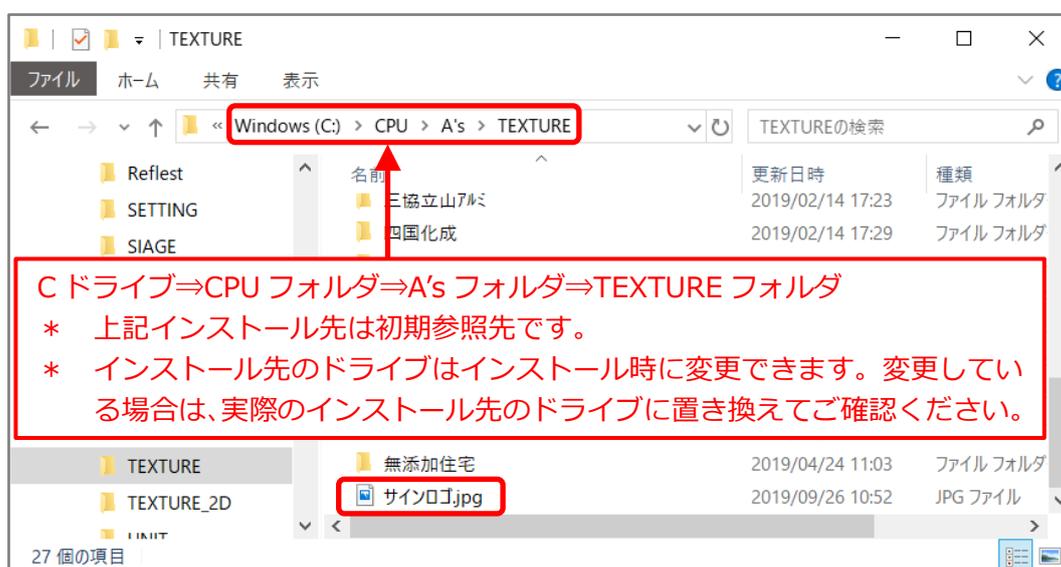


- * ここでは、分かりやすいよう周囲を枠線で囲っていますが、枠線の無い文字のみの画像を用意してください。
- * 画像の作成方法については、使用する画像編集ソフトによって異なるため省略します。

【注意】

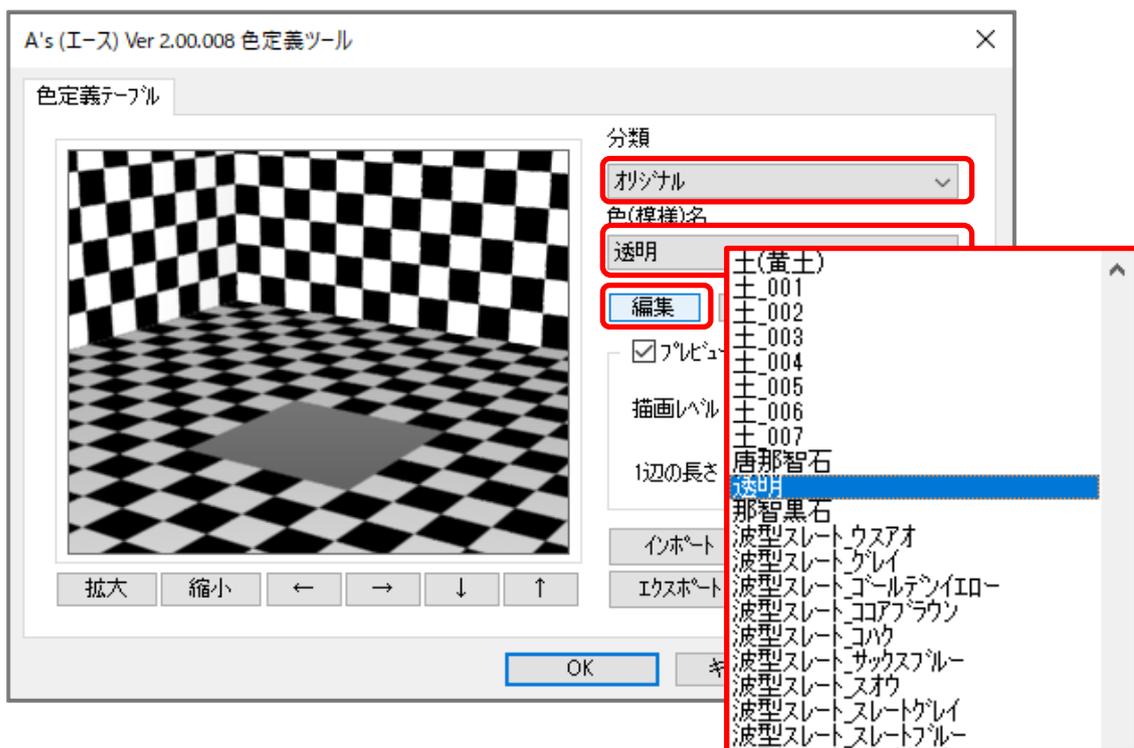
- 使用する画像データは、背景が白色・濃い文字色のものを用意してください。
- P.3 の「画像データの登録」で透過の処理を設定し、文字のみを表現します。白色に対して透過処理がはたらくため、背景が白色以外や文字が白色・薄い色の場合は正しく表示されません。

用意した画像データは、インストール先の「A's」フォルダ内の「TEXTURE」フォルダに保存してください。



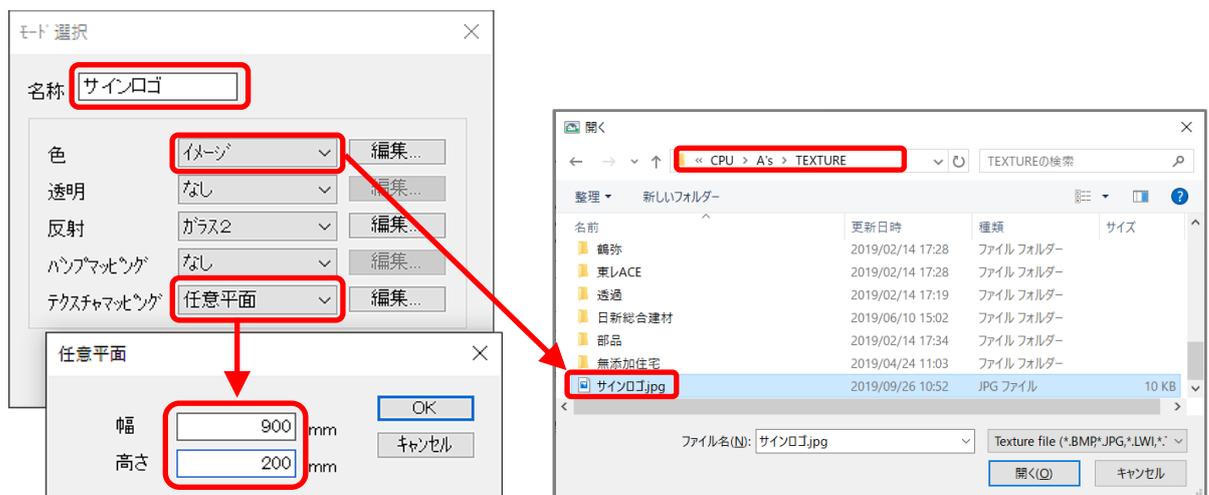
● 画像データの登録

- ① デスクトップの  (A's (エース)) をダブルクリック
 - * 「A's (エース)」グループの画面が表示されます。
- ②  (各種ツール) をダブルクリックし、「色定義」フォルダをダブルクリック
- ③  (3D 色定義ツール) をダブルクリック
 - * 色定義ツールの画面が表示されます。
 - * 物件を起動し、3D パースの部材色変更画面から「色編集」をクリックし、「色定義ツール」を起動してもかまいません。
- ④ 分類を「オリジナル」、色(模様)名を「透明」に変更し、「編集」をクリック
 - * 色(模様)名は、アルファベット→カタカナ/ひらがな→漢字の順に並んでいます。
 - * モード選択画面が表示されます。



⑤ 名称、色、テクスチャマッピングを変更

- 名称→「サインロゴ」
- 色→「イメージ」に変更し、「開く」の画面から、P.2「画像データの準備」で、「TEXTURE」フォルダに保存した「サインロゴ」の画像を選択
- テクスチャマッピング→「任意平面」に変更し、表示される任意平面画面で幅「900」、高さ「200」に設定
 - * 幅、高さは実際に壁に貼り付けた事を想定したサイズを入力します。
- 透明、反射、バンプマッピングの設定は変更しません

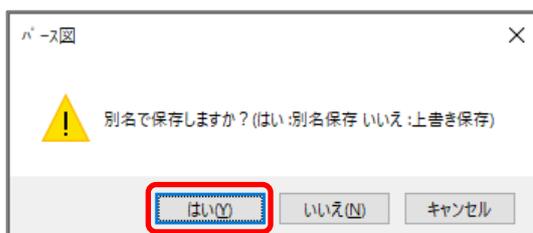


⑥ 「OK」をクリック

- * 「別名で保存しますか？」とメッセージが表示されます。

⑦ 「はい」をクリック

- * 「いいえ」をクリックすると上書き保存になり、元のテクスチャが消えてしまいます。必ず「はい」をクリックしてください。
- * 色定義ツール画面に戻ります。



⑧ 「登録」をクリックし、「OK」をクリック



- * ここで「登録」しないまま色定義ツールを閉じると、追加・編集した内容が正しく保存されません。必ず「登録」をクリックしてください。

【注意】

使用した画像データは、P.4 操作⑤で指定した参照先から移動、削除しないでください。
指定した参照先に画像データがないと、3Dパースで部材色が反映しなくなります。

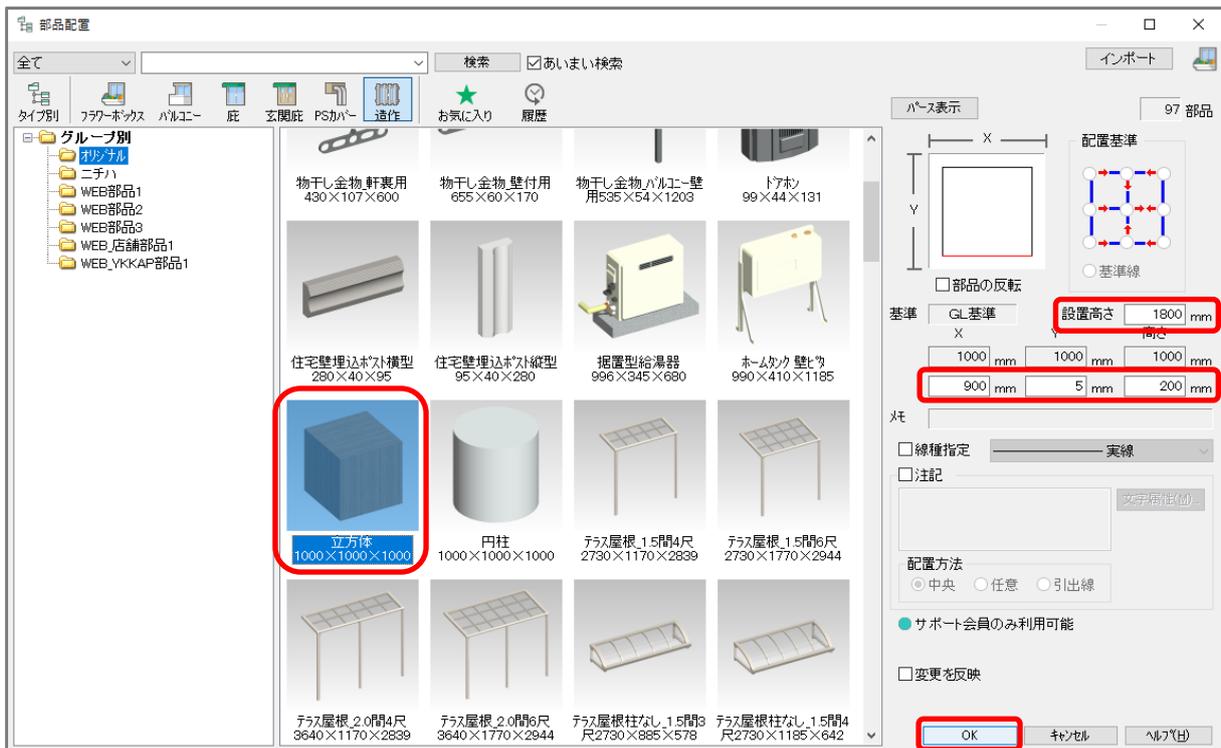
● プラン図での操作

① (プラン図)を起動

② (付属品)の (造作部品)をクリック

* 部品配置画面が表示されます。

③ 立方体をクリックし、部品のX、Y、高さ、設置高さを変更し「OK」をクリック



* サインロゴのサイズにあわせ、X「900」、Y「5」、高さ「200」、設置高さ「1800」に設定します。

* Yは立方体の厚みです。1~10mmの範囲で設定します。

④ 入力モードが (壁付配置)になっていることを確認し、配置したい位置で起点、終点をクリック

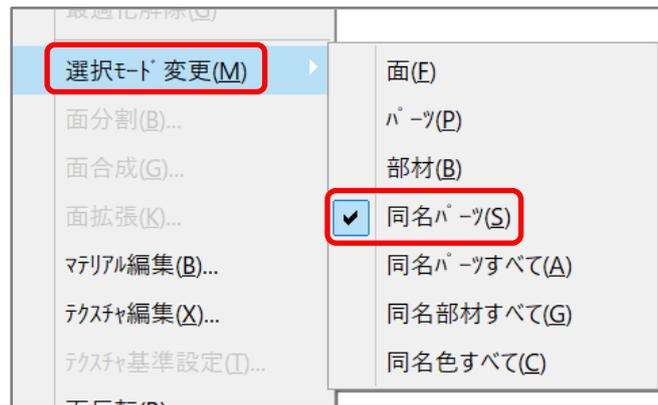


* 立方体が壁に埋まらないよう、配置方向に注意してください。

● 3D パースでの操作

①  (3D パース)を起動

② 右クリックメニューの「選択モード変更」から「同名パーツ」を選択



③ プラン図で配置した立方体を選択後、右クリック

④ 右クリックメニューから「最適化解除」をクリック

* 「最適化」されているとグループ化の影響で作業に制限がかかるため、解除します。



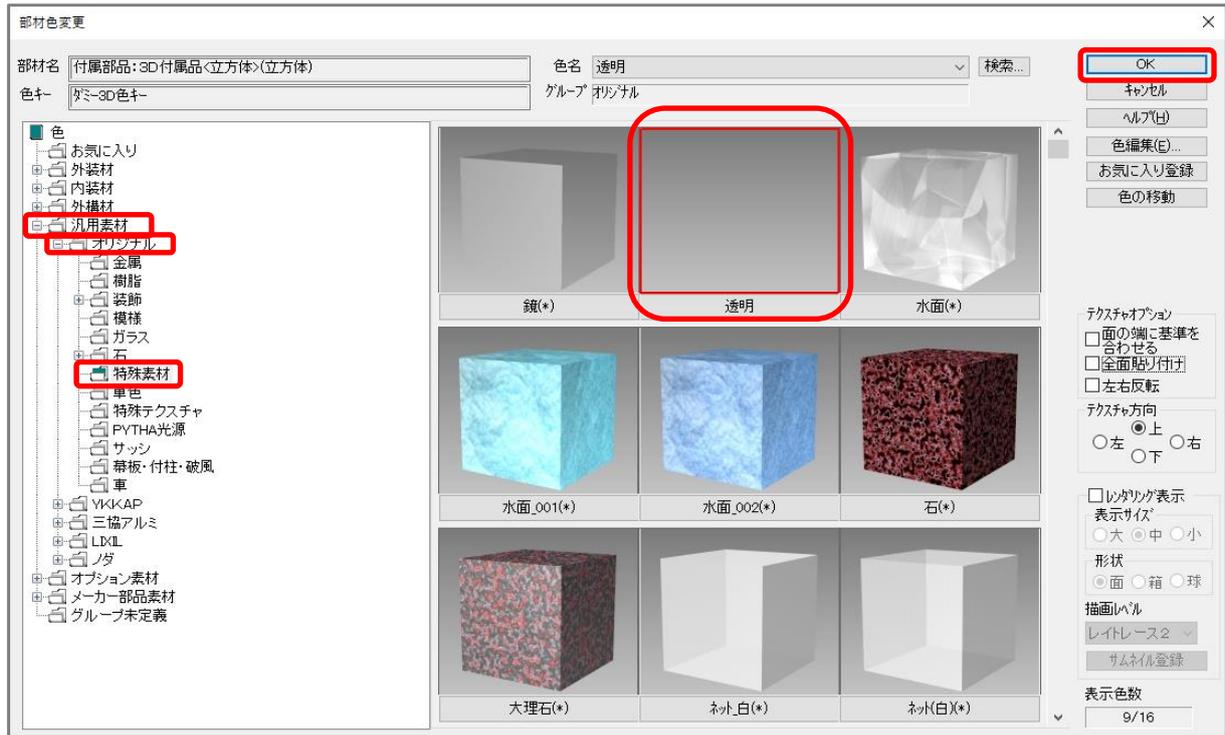
⑤ 再度、立方体を選択後、右クリック

⑥ 右クリックメニューから「部材色変更」をクリック



* 部材色変更の画面が表示されます。

- ⑦ 「汎用素材」⇒「オリジナル」⇒「特殊素材」から「透明」を選択し、「OK」をクリック



* 立方体が透明になります。

- ⑧ 右クリックメニューの「選択モード変更」から「面」を選択



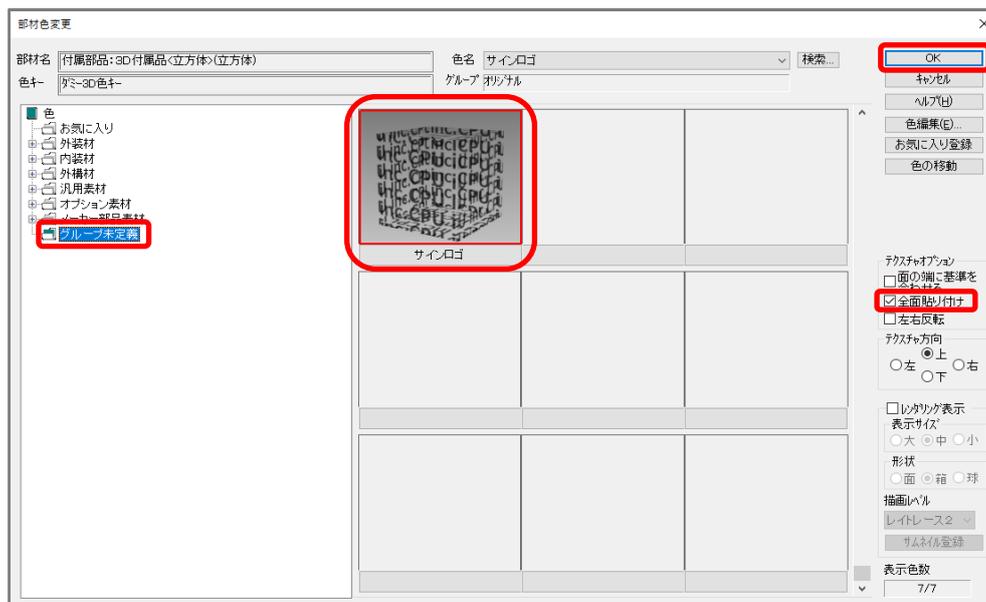
- ⑨ 立方体を選択後、右クリック

- ⑩ 右クリックメニューから「部材色変更」をクリック



* 部材色変更画面が表示されます。

- ⑪ 「グループ未定義」から「サインロゴ」を選択し、テクスチャオプションの「全面貼り付け」にチェックを入れて「OK」をクリック



- * 「全面貼り付け」にチェックを付けると、選択した面全体に画像を引き伸ばして貼り付けることができます。

- ⑫ レンダリングを行い確認

- * 文字はレンダリング結果に反映します。



【注意】

- ファイナルギャザーでレンダリングを行った場合、文字の後ろに黒い影のようなものが出ることがあります。影のようなものが出た場合は、レイトレースでレンダリングを行ってください。
- この方法は V-Ray レンダリングには対応していません。